

4 ODAを通じた世界の食料安全保障や地球的規模の課題等への対応 【3, 623(3, 956) 百万円】

対策のポイント

- ・世界の食料生産・投資を促進し、世界の食料安全保障に貢献します。
- ・気候変動や越境性感染症等地球的規模の課題に対応する取組を支援します。
- ・紛争地域や大地震・洪水等被災地域を農業振興を通じて復興支援します。

<背景／課題>

- ・世界の栄養不足人口が10億人に達する中、世界の食料生産や農業投資の促進が必要です。
- ・新成長戦略に位置付けられたアジア地域での植物新品種の保護体制の構築や食品安全基準の国際標準化作業等に貢献します。
- ・気候変動問題や口蹄疫等越境性感染症等の地球的規模の課題への対応が必要です。
- ・紛争地域や大地震・洪水等被災地域に対する農業振興による復興支援が重要です。

政策目標

- 世界の食料安全保障の確立に向けた貢献
- 気候変動問題等地球的規模の課題への適切な対応
- 自然災害・紛争後の復興支援

<主要内容>

1. 世界の食料安全保障の確立に向けた貢献

(1) アフリカのコメ生産倍増とイモ・マメの増産支援 334(507) 百万円

2018年までにアフリカのコメ生産を倍増(1400万t→2800万t)すべくアフリカの稲作の普及等に取り組む他、イモやマメの増産を支援します。

(事業実施主体：WFP(国連世界食糧計画)、IITA(国際熱帯農業研究所)等)

(2) アジアの食品安全向上等支援

93(79) 百万円

アジア地域での植物新品種の保護体制の構築や食品安全関係の国際基準の普及を推進するとともに、国際基準策定への参画を支援します。

(事業実施主体：UPOV(植物新品種保護国際同盟)、FAO(国連食糧農業機関)等)

2. 気候変動問題等地球的規模の課題への適切な対応

(1) 気候変動対策への貢献

940(737) 百万円

持続可能な森林経営のための支援等に取り組みます。また、気候変動による途上国の食料安全保障の影響を地図化し、影響を受ける地域における気候変動への適応策等を特定します。

(事業実施主体：ITTO(国際熱帯木材機関)、FAO(国連食糧農業機関)等)

(2) アジアと協力した越境性感染症対策

133(122) 百万円

アジア各国において口蹄疫等に係る防疫計画策定を支援するとともに、鳥インフルエンザの早期通報体制整備等を行い、越境性感染症対策を推進します。

(事業実施主体：OIE(国際獣疫事務局)等)

(3) 水産資源の適切な管理・持続的利用の推進

1,141(1,205) 百万円

途上国や地域漁業管理機関と協力し、マグロ等水産資源の持続的利用を推進します。

(事業実施主体：WCPFC(中西部太平洋まぐろ類委員会)等)

3. 自然災害・紛争後の復興支援

112(195) 百万円

東アジアの大規模災害等の緊急時に備えるためにアセアン+3による緊急米備蓄体制を確立する他、アフガニスタン等紛争復興地域の農業リーダー等を対象に農業研修を行います。

(事業実施主体：アセアン事務局、民間団体等)

[お問い合わせ先：大臣官房国際部国際協力課 (03-3502-5913(直))]

農林水産分野の国際協力の推進

ポイント

- 世界の食料生産・農業投資を促進し、食料安全保障に貢献。
- 気候変動や越境性感染症等の地球的規模の課題に対応。
- 紛争地域や大地震・洪水等被災地域の復興を支援。

背景

2050年の 人口(推計)	現在の栄養不足 人口(推計)	世界の人為起源の 温室効果ガスのうち、 農林業の占める割合
91億人	10億人	31%
(国連による推計)	(FAOによる推計)	(IPCC報告書)

施策

I. 世界の食料安全保障の確保

- ・2018年までにアフリカのコメ生産を倍増。また、アフリカの重要食料であるイモやマメの増産を支援。
- ・アジア諸国を対象に食品安全関係の国際基準の普及を後押しするとともに、国際基準策定への参画を支援。



II. 気候変動等地球的規模の課題への対応

- ・気候変動で深刻な影響が懸念される農業や持続可能な森林経営への支援等を通じて気候変動対策に貢献。
- ・アジアと協力した口蹄疫等越境性感染症対策の推進。
- ・途上国や地域漁業管理機関と協力し、マグロ等水産資源の持続的利用を推進。



III. 自然災害・紛争後の復興

- ・東アジアの大規模災害等の緊急時に備えるためにアセアン+3による緊急米備蓄体制を確立。
- ・アフガニスタン等紛争地域の農業リーダー等への研修を通じ復興を支援。